

万葉集における愛と死

— 感受性といのちの絶唱 —

『万葉集』（全20巻4500首余）は1300年以上も前に編纂された世界でも初めての国民歌集です。帝・帝妃から防人・農民まで、あらゆる立場の人の歌が収められています。とりわけ注目されることは、万葉集が相聞歌と挽歌、つまりは愛の讃歌と死別の哀傷歌を中心にしていることです。そこには深い叙情と美しい詞彩の工（たくみ）があいまって、上代日本人の心の深さと高さがみごとに表現されています。いのちの充実と心の豊かさをあらためて希求している現代の私たちは、この先人たちの言葉といのちの源流にさかのぼりながら、愛（生）と別れ（死）の意味を考えてみたいと思います。

【スケジュール】

‘15年 5月11日：万葉集の時代と人間・巻頭の歌

6月 8日：額田王の時代・近江朝挽歌

7月13日：壬申の乱の時代・柿本人麻呂の登場

9月14日：挽歌の世界（柿本人麻呂他）

10月19日：天平万葉の時代Ⅰ 山部赤人・山上憶良

11月 9日：天平万葉の時代Ⅱ 大伴旅人・大伴家持

12月 7日：民衆の歌・防人の歌

‘16年 1月18日：万葉集の女性歌人たち

2月15日：万葉集における自然と人間

3月14日：古代日本人の死生観



コーディネート：田畑 邦治 氏（白百合女子大学教授）

会場：生と死を考える会事務所（お茶の水・東京YWCA会館2F214号室）

日程：19:00－20:30/月1回（全10回）原則として第2月曜日

定員：先着20名

参加費：通年 一般 12,000円（会員：8,000円）

各回ごと 一般 1,500円（会員：1,000円）

申込：下記本会宛に、電話（火・金／午後）、FAX、メールでお申込み下さい。

NPO法人・生と死を考える会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館2F214号室

TEL 03-5577-3935 FAX 03-5577-3934

Mail:koenkai@seitosi.org URL:www.seitosi.org/